

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	国際文化ネットワークの構築及び文化多様性の保護・促進への対応		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成12年度～終了年度未定		担当課室	長官官房国際課		国際課長 佐藤 透		
会計区分	一般会計		政策・施策名	XⅢ 文化による心豊かな社会の実現 XⅢ-3 日本文化の発信及び国際文化交流の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第15条		関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国の文化振興と新しい文化の創造を目的として、諸外国の優れた芸術家、文化財専門家を招へいするとともに、文化交流に関する国際会議への参加・開催等を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>各国の文化政策担当機関や国際機関等が開催する国際会議への文化庁国際交流担当官を派遣するほか、ハイレベルの行政官を交えた諸外国の文化政策担当機関等との意見交換・交流を実施。また、諸外国より芸術・文化に優れた業績を残し指導的立場にある者を招聘し、我が国関係者との意見交換、共同制作及び共同研究等の諸活動を行う機会を設定する。</p> <p>※予算額・執行額のうち平成22年度分については、「文化芸術分野における海外との共同創作活動を通じた国際交流の推進」に係る経費を含む額であり、平成23年度より、前年度「国際文化ネットワークの構築」及び「多様な手段による日本文化の発信」を事項組替。</p>							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	81	24	23	24	26	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	81	24	23	24	26	
	執行額	67	24	19				
	執行率(%)	82.9%	99.9%	83.5%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	国際的な文化政策行政官、文化人・芸術家のネットワーク構築による国際文化交流の推進や文化多様性の保護・促進に係る戦略的文化政策の構築については、中長期的な視点に立ち、国際的な動向も踏まえながら時勢にふさわしい戦略・方針で行う必要があることから、定量的な指標を設定することは困難である。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	外国人芸術家・文化財専門家招へい者数		活動実績 (当初見込み)	人	10 (10)	12 (8)	7 (7)	- (7)
単位当たりコスト	0.84 (百万円/人)		算出根拠	平成24年度執行額:5.9百万円/外国人芸術家・文化財専門家招へい者数:7人				
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	8百万円	9百万円					
	委員等旅費	0.4百万円	0.4百万円					
	外国人招へい旅費	6百万円	6百万円					
	文化人等派遣旅費	3百万円	5百万円					
	庁費	3百万円	3百万円					
	招へい外国人滞在費	4百万円	3百万円					
	計	24百万円	26百万円					
				※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。				

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	国際的な文化政策行政官、文化人・芸術家のネットワーク構築による国際文化交流の推進や政府レベルでの国際会議への出席については、国として実施していく必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	外国人芸術家・文化財専門家招へいに当たっては、関係機関のニーズを調査し、分野や地域性にも配慮した上で、文化政策上高い意義を有するハイレベルの人物の招へいに限定している。支出費目については、事業実施要項に定め、事業実施に必要なものに限定している。なお、平成24年度においては3名の招へい予定者が二国間関係の悪化や自己都合により、急遽、来日できなくなったため、不用が発生した。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	外国人芸術家・文化財専門家招へいに当たっては、事業趣旨と文化政策上の意義に基づき、指導的立場にあるハイレベルの芸術家、文化財専門家等に限定し、効果的かつ効率的な執行を行っている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	上記、評価に関する説明にも記載したとおり、事業実施の必要性は高く、資金投入の合理性を確保している。また、国庫支出のあり方についても、招へい者に報告書を提出させ、招へい事業が計画通りに実施されたかどうかを確認するとともに、航空券の半券等の証ひょう関係書類の提出を求め、その内容の突合を行うことで適正性を担保している。					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、国際文化交流を推進することを目的に、諸外国の優れた芸術家等の招へい及び国際会議へ参加・開催等を実施するものであり、予算執行状況及び長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見:本事業は長期にわたり実施しているが、文化政策を担当する各国のハイレベル行政官との交流をはじめ代替措置が困難であり、国が引き続き実施する必要性が認められる。これまでも経費の見直しを行ってきたところであるが、積算の不断の見直しなどを通じて引き続きコスト削減に努めるべきである。</p>					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	本事業については、予算執行の実績と平成26年度に開催される国際会議を的確に把握した上で、旅費積算人数・回数・日数の見直しを行い、概算要求に▲5百万円反映した。					
備考						
文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)(平成23年2月8日閣議決定) http://www.bunka.go.jp/bunka_gyousei/housin/kihon_housin_3ji.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0487	平成23年	0407	平成24年	0432

※平成24年度実績を記入。

文化庁  
19百万円

職員旅費 8百万円  
文化人等派遣旅費等 3百万円  
庁費 2百万円 } を含む

外国人芸術家・文化財専門家  
招へい事業

※庁費は消耗品の購入等であり、1件100  
万円以上の支出はない

諸外国より芸術・文化に優れた  
業績を残し指導的立場にある者  
を招聘し、我が国関係者との意  
見交換、共同制作及び共同研  
究等の諸活動を行う機会を設定

【支出】

A. 外国人芸術家・文化財専門家  
(全7名(個人))  
6百万円

外国人芸術家・文化財  
専門家に対して招へい  
のための旅費等を支出

資金の流れ  
(資金の受け取  
り先が何を行っ  
ているかについ  
て補足する)  
(単位:百万  
円)

**費目・使途**  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.外国人芸術家・文化財専門家(個人A)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	交通費・滞在費	1.1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	外国人芸術家・文化財専門家(個人A)	講演、意見交換、視察等	1.1	—	—
2	外国人芸術家・文化財専門家(個人B)	講演、意見交換、視察等	1	—	—
3	外国人芸術家・文化財専門家(個人C)	講演、意見交換、視察等	0.9	—	—
4	外国人芸術家・文化財専門家(個人D)	講演、意見交換、視察等	0.9	—	—
5	外国人芸術家・文化財専門家(個人E)	講演、意見交換、視察等	0.9	—	—
6	外国人芸術家・文化財専門家(個人F)	講演、意見交換、視察等	0.7	—	—
7	外国人芸術家・文化財専門家(個人G)	講演、意見交換、視察等	0.4	—	—

※旅費及び滞在費であるため「入札者数」「落札率」は「—」としている